

講座内容と講師紹介

① 浜田進士さん

「子どもにはチカラがある

～子どものエンパワーメントを支えるおとなの役割～」

講座内容

子どもにはチカラがあります。このチカラを発揮させるには、何が必要なのでしょう。子どもが必要としているものは、その子に聞いてみないとわかりません。子どもの権利が保障される社会になるために、大人の役割とは？

講師紹介

子どもの権利条約総合研究所関西事務所 所長
子どもの権利条約 関西ネットワーク共同代表、自立支援ホームあらんの家統括施設長。特定非営利活動法人青少年の自立を支える奈良の会理事長。「子どもの権利」をテーマに、日本ユニセフ協会や国際子ども権利センター等、子ども関係の団体で約16年間勤める。元関西学院大学教育学部准教授（専門は子どもの権利擁護・子ども支援論）。現在は、宝塚市などで子ども議会・子ども委員会の運営支援、奈良市・豊中市などで子ども条例策定の支援や関西学院大学・同志社女子大学の非常勤講師も務める。

② 飯田順三さん

「思春期外来の現場から」

講座内容

思春期外来の現場から見える今の子どもたちについてお話しいただきます。子どもの発達にそって学び、そのことが思春期にどう影響するか、また発達障害や精神疾患について事例を基に、詳しくお話しいただきます。

講師紹介

奈良県立医科大学 名誉教授
医療法人南風会万葉クリニック 子どものこころセンター センター長
2021年奈良県立医科大学医学部看護学科人間発達学教授を退任、同大学名誉教授に就任。
医学博士、精神保健指定医、精神専門医・指導医、日本児童青年精神医学会認定医・常任理事。著書は「詳解子どもと思春期の精神医学」「発達障害」「改訂版 注意欠陥多動性障害—ADHD—の診断・治療ガイドライン」「自閉症ガイドブックシリーズ3 思春期編」「心の気がかり相談室 思春期編」など多数。昨夏出版された「ADHD クロストーク」では3人の臨床家が温かな言葉で「ADHD 臨床」について語っています。

③ 市川岳仁さん

「依存症からの回復とエンパワーメント」

講座内容

依存から回復した自らの経験や、その背景についてお話しいただきます。ありのままの自分を認め合える仲間との繋がり大切さや、支援者として当事者に寄り添いながら、制度や施策にも携わっておられる活動について学びます。

講師紹介

特定非営利活動法人三重ダルク常務理事。当事者性と専門性、経験と科学の狭間を漂流中。「三重ダルク」を主宰する傍ら、ネパールでソーシャルビジネスカフェを運営、2019年にはライブハウス「漂流劇場」オープン。2021年～志摩「私」研究所の所長。立命館大学大学院人間学研究科博士課程に在籍。名古屋市立大学、京都精華大学、日本福祉大学で講師も務める。共著「ダルクー 回復する依存者たち」（明石書店）
精神保健福祉士、保護司。

④ 喜多明人さん

「子ども支援のまちを創ろう

—チャイルドライン活動に子どもの権利条約を活かす—」

講座内容

自己肯定感が低いと言われる日本の子どもの実態を、教育をめぐる様々な問題など多角的に話していただきます。子どもの権利条約を基に、子どもの権利、子ども支援のまちづくりについて学びます。

講師紹介

早稲田大学名誉教授、子どもの権利条約総合研究所顧問、学校法人東京シューレ顧問。NPO 活動として、子どもの権利条約ネットワーク代表、多様な学び保障法を実現する会共同代表、日本子どもNPOセンター理事、チャイルドライン支援センターアドバイザー、学校安全全国ネットワーク代表などを務める。自治体支援として、子どもの権利条例に関する様々な委員、アドバイザーを歴任。地元東京・目黒ではチャイルドライン東京ネットワーク代表、めぐろチャイルドライン代表などを務める。